

生徒諸君へ（7月12日）

定期テストが終了し、本来であればオリンピック・パラリンピック観戦をはじめ、さまざまな大会や発表会がめじろ押しになってくるはずでした。新型コロナウイルス感染症の再拡大による緊急事態宣言が改めて出され、オリンピックは無観客になることになり、本校生徒が観戦するはずだったアーチェリーの応援も中止のやむなきに至りました。若い皆さんが観戦する折角の機会と思って期待していたのですが、残念でなりません。

ただ、前回の宣言下とは大きく異なる希望は、ワクチンの接種の広がりと多くの人たちが感染症予防に力を尽くしていることです。まだまだ、未知の事象があるにせよ、私たちは社会生活を送っていくことが可能になりつつあるのです。

先日、卒業した人たちが学校を訪れて、さまざまな障害を乗り越えて、頑張っていることを伝えてくれました。今年、卒業を考えている人たちにとっては、進路の取組が始まっています。就職や専門学校を目指す人、総合型選抜を考えている人たちは、二学期には佳境になるでしょう。一般受験を考えている人は夏が追い込みの時期であることは言うまでもありません。本校でも、7月の時期から夏季休業にかけてできる限りの支援体制で、取組を実施していきます。

また、部活動や社会体験も、制約があるにしろ、挑戦していくことが必要です。ただ、手をこまねいているだけでなく、自らの意思で、できるところから取り組んでいきましょう。先生やスクールカウンセラーの方々とも相談することも良い考えです。時間は流れていきます。生徒の皆さんはまだ若いのでそれほど気づかないかもしれませんが、時間の浪費は禁物です。

最後に、本校は他校と比較しても、ソーシャルディスタンスや環境面で恵まれています。この環境を生かして、ぜひ一つ一つ実現していきましょう。そのためには、感染症対策として手洗いや消毒、検温の徹底、食事時の注意は、いうまでもありません。

皆さんの協力を期待しています。

令和3年7月12日

校長 大場 充